

建設水道委員会

市の土木部及び水道局の所管に属する事項に対応する委員会です。

◎竹内靖人 ○野村昌平
岡田康弘、川端恵美子、近藤吉一郎
田口慎一郎、村田隆男、吉田耕造

今期定例会において、当委員会に付託された議案十八件、継続審査中の請願一件については、慎重に審査をした。議案十八件は、いずれも全員一致で原案のとおり可決と決し、請願は継続審査と決した。特に論議され、意見、要望を付した主なものは次のとおりである。議案第七十一号「平成二十二年度津山市一般会計予算のうち建設

水道委員会の所管に属する事項」では、まちのコンシェルジュ(総合案内人)、津山チャレンジ支援業務委託について質し、市民への分かりやすい説明と広報をし、その実績と効果を報告するよう要望した。また、グリーンヒルズ津山のグラスハウスの改修内容についての質問、道路の新設工事や改良工事などに多くの要望などが出された。

議案第十一号「津山市手数料条例の一部を改正する条例」、議案第十二号「津山市建築基準法関係手数料条例の一部を改正する条例」について、岡山県下一斉に手数料の改定をするもので、関係者に、十分説明と周知を図るよう要望した。

平成十九年度請願第十三号「南部第一中継ポンプ場の伏見町地内設置予定の変更を求める請願書」については、公共下水道計画確定後に地元関係者に説明するとのことで、引き続き調査研究の必要があると判断し、継続審査と決した。

議案第九十号「平成二十二年度津山市水道事業会計予算」について、厳しい状況であるが営業努力をしていくとの説明があった。

議案第九十一号「平成二十二年度津山市工業用水道事業会計予算」については、企業立地課に企業誘致を要請していきたいとのことであった。

水道の将来計画や料金改定について質問が出され、水道事業では、安全安心な水道水の安定供給を持

続していくため、更新事業など設備投資は必要であり、給水計画、施設整備計画、財政計画の三つの計画を策定し、着実に運営すること。料金改定について、可能な限りの経営努力を行い、改定時期の延伸を図りたいとの答弁があった。また、空港津山道路について国等への要望活動などの状況報告と、都市計画道路の見直しについて地元説明会の開催状況の報告を受けた。



津山南道路の概要